

小谷小学校（在校生）意見交換会

令和4年7月8日（金） 19時00分～
吹上生涯学習センター ホール

① 参加者
9人

② 出席者
齊藤部長 上岡副部長 新井主査 堀主任 石井主事

③ 以下、主な意見要旨

保護者①	<p>・今後、児童数の減少が続くことを考えると学校の統合はしょうがないとも思うが、赤見台第二小学校や箕田小学校への通学区域の変更も含めて、再編を考えてほしい。</p> <p>⇒小谷地域は、吹上小学校のほか、赤見台第二小学校、箕田小学校と近距離の家庭もあり、通学区域の変更についての相談はいただいている。</p> <p>教育委員会では、小谷地域は一つとして考えており、吹上小学校との統合を提案しているが、今後の意見交換等により、保護者をはじめとした、地域の皆さんの意見を聞いた上では、通学区域の変更は可能性としてあり得る。その際には、徒歩通学における通学の安全性確保や、地域の見守り、統合後の地域独自の事業の継続などの課題を解消していく必要がある。</p> <p>なお、スクールバスについては、学校から直線距離で2kmを超える区域から通学する児童を対象に運行することとしている。吹上小学校に通学する場合、ほとんどの区域が2km圏外となるが、赤見台第二小学校や箕田小学校を含めて通学区域を再編した場合は、徒歩で通学することとなる。</p> <p>また、吹上小学校と統合し、スクールバスを運行する場合は、小谷放課後児童クラブが乗降場所の候補となり、下校時もスクールバスで放課後児童クラブまで送迎することが考えられるが、赤見台第二小学校や箕田小学校が指定校となる場合で、小谷放課後児童クラブに通う際は、バスの運行等、クラブとの調整が必要となる。</p> <p>このようなスクールバスの問題点も考慮して、今後、皆さんから意見をいただきながら、通学区域について検討していきたい。</p>
保護者②	<p>・上の子が小谷小学校を卒業しているので、下の子も卒業させたいという反対の意見を他の保護者から聞いている。私自身も下の子が微妙なタイミングではあるので複雑な気分ではあるが、統合するのであれば、通学路の安全確保等、丁寧に検討してほしい。</p> <p>・出席人数が9人と、大変少ないのは、統合が決まっている中、反対しても無駄という気持ちから来ない方も多い。今日の意見交換会の趣旨が伝わっていないと感じる。</p>

	<p>・小谷小学校の跡地活用については、なるべく早く方向性を結論づけてほしい。不審者が集まるような場所になってしまうのではないかと、学校周辺に住んでいる人たちが不安を感じてしまう。</p> <p>⇒笠原小学校については、統合が決定する前から跡地の検討をするべきではないといった趣旨の意見をいただいていたこともあり、統合が決定して以降、現在も、地域の皆さんと協議しながら跡地活用に関する検討を継続している。</p> <p>教育委員会としては、可能な限り早期に跡地は活用されるべきと考えていることから、適正配置等における検討の段階においても、特に地域にお住いの皆さんからの意見をいただき、担当部署へ情報提供していきたいと考えている。</p> <p>学校の機能として、避難所としての役割について話をされる方が多くいる。現時点では学校を避難所として指定しているが、吹上コスモスアリーナ等への変更も考えられる。むしろ、小学校の場合、1階に電気設備であるキュービクルが置かれているため、水害の際は避難しても電気が使用できないことが想定される。このことから、学校から別の場所に避難所を変更するなど、指定避難所のあり方とセットで跡地活用についても考える必要がある。</p>
<p>保護者①</p>	<p>・小谷小学校と大芦小学校での合併は考えられないのか。</p> <p>⇒現時点では、統合することで2クラスになる学年もあるが、将来を考えると児童数は減少していくことが想定されることから、現時点で2校が統合しても、再度統合することとなった場合には、子どもたちをはじめ、保護者や地域、教職員を含めた多くの方にとって負担となることから、2校統合は考えていない。</p> <p>また、小規模校の場合は教職員の配置人数が非常に少なく、一人あたりの公務負担が大きくなってしまいます。これにより、子どもに向き合う時間や、授業について考える時間、研修に参加する機会が減少してしまう。</p> <p>・先生の負担が減少するという事は、時間外労働も減少するという認識でよいのか。</p> <p>⇒数字に必ずしも反映される訳ではない。</p> <p>適正規模校になり、一人あたりの公務負担が減少することで、今まで以上に、授業の進め方について同僚と話し合ったり、研修に参加したりと、子どもに向き合う時間や、自分のスキルアップに充てる時間を増やすことができる。小規模校の場合は、一人あたりの校務負担が大きくなることから、ここに多くの時間を割くことができない場合があった。</p>
<p>保護者②</p>	<p>・私自身は、こういう場を開いてくれていることにも感謝しているし、嘘偽りなく話してもらっていると信じている。一方で、PTA 会長の中には、教育委員会の言うことを真に受けてはいけないということを言っているため、どちらを信じていいか分からなくなってしまう。</p> <p>⇒市役所の間人として、嘘をついて、皆さんを騙してまで進めることは絶対にない。</p> <p>笠原小学校の統合においても、当初は一部の保護者から大きな反対意見をいただいていた</p>

	<p>いたが、嘘偽りなく接することで、現在は良好な関係を築けていると考えている。</p> <p>各校 PTA 会長の中には、異なる考えを持っている方がいることは承知している。その方々に対しても、教育委員会の考えを丁寧に説明して、一定の理解をいただきたいと考えている。</p>
保護者①	<p>・保護者の中には、北新宿地区の通学区域を変更することで、小谷小学校と大芦小学校の児童が入る枠を空けている、統合は決定しているものと考えている保護者は多くいる。</p> <p>⇒北新宿地区においては、第一に、以前から保護者をはじめとした地域の方々から多くの要望等をいただいていた洲崎橋を通る通学路の安全確保への対応が喫緊の課題となっていた。市教育委員会でも、橋の拡幅や架け替え、交通規制や通学路の変更について、関係各機関への要望及び検討を進めてきたが、すぐに安全を確保することができなかった。このような状況への対策として、通学区域の見直しに伴い、通学路が変更となることで、危険性のある洲崎橋を回避できるのではないかと考えたものである。</p> <p>加えて、吹上小学校は、中学校への進学先が、吹上中学校と吹上北中学校へ分かれており、北新宿地区は吹上北中学校へ進学することとなる。下忍小学校は、全員が吹上北中学校に進学するため、通学区域を下忍小学校に変更することで、中学校への進学先が別れている小学校の見直しにもつながる。</p> <p>教育委員会としてできる最善の方策が通学区域の見直しと考え、対象地域の保護者に対する意見交換会の中で提案したものである。</p> <p>通学区域変更の趣旨については、令和3年11月に対象の在校生保護者、未就学児の保護者に対して説明している。</p> <p>小谷小学校と大芦小学校の統合については、平成27年度から検討しているものであり、その後北新宿地区の通学区域変更の話となっている。</p>
保護者③	<p>・1年生の児童は11人で、女の子が8人、男の子が3人。令和6年度から令和9年度が統合予定年度ではあるが、その頃には、高学年になっている可能性がある。それまでには修学旅行など様々なイベントがある。同学年の同性が3人しかいないというのは寂しいし、性格が合うかも分からない。できることなら、多様な人間関係の中で育ててほしいし、その中で競争心も身につけてほしい。3人しかいないと、その中で順位付けが確立されてしまい、この子には勝てないという諦めの気持ちがでてきてしまう。</p> <p>今後、統合を考えていく上で、早い段階で転校させてもらうことも可能なのか。</p> <p>⇒笠原地域や北新宿地区においては、正式に統合年度決まった（議会で条例の改正が認められたとき）後、1年間かけてスクールバスの調整や交流事業を実施するが、未就学児においては、1年で学校が変わってしまうことへの心情面を配慮して、1年先に統合後の学校へ入学することを認めた経緯がある。</p> <p>しかし、在校生の転校を認めた例は過去にないため、そのような要望があった際には、慎重に検討する必要がある。</p>
保護者①	<p>・吹上小学校は、令和9年度に向けて600人弱の人数となる。大規模校のデメリットが</p>

	<p>出てきてしまうのではないか。</p> <p>⇒教育委員会としても大規模校化は目指していない。600人弱というのは、北新宿地区の通学区域の変更が加味されていない。未就学児を中心に、下忍小学校に通学する児童が一定数いると思われるため、その人数よりは少なくなることが想定される。</p>
保護者④	<p>・今日は人数が少なかったのもう一度、意見交換会を開催してもらいたい。</p> <p>⇒ぜひ開催させていただきたい。</p> <p>・次回は、授業参観の後など、出席しやすい日時を設定してほしい。多くの保護者がいる中で意見交換会を実施し、統合を進めてほしい。このまま統合に向かってしまうのは避けてほしい。</p> <p>⇒教育委員会としても、多くの保護者に趣旨を説明し、意見をいただいた上で統合を進めていきたいと考えている。</p>
保護者⑤	<p>・吹上小学校の通学区域変更は検討しないのか。</p> <p>⇒吹上小学校と大芦小学校の通学区域については、合併前の平成16年度から始まり、最終的な答申が出た平成24年度まで複数年にわたり議論されている。</p> <p>目的が大芦小学校を存続させるためであり、吹上小学校の児童、保護者からすると通学区域を変更する理由にはならず、反対だったことから、白紙となっている。</p> <p>将来を考えると児童数は減少していくことが想定されることから、今回、吹上小学校の通学区域を変更して、その後改めて、大芦小学校と吹上小学校を統合するというのは、子どもたちをはじめ、保護者や地域、教職員を含めた多くの方にとって負担となることが考えられるため、現時点では検討していない。</p> <p>・統合が決まった場合、統合までの見通しができるような資料をいただきたい。</p> <p>⇒次回の意見交換会の際にお示しする。</p>